

退明聲書

嘗つて御賛助を仰ぎつゝありました牢獄文庫は、未だ世親の胎内にある中から、何んだか胎児が病氣の様です、尤も豚體其の者が既に病氣なのですから如何とも致し方がありません。是れ迄種々御援助をされた諸氏には何んとも申譯がありません。同人福田狂二氏等と共に本文庫の爲めに努力して來ましたが、私には性格に於いても主義主張にも其處に根本的の相違ある事を發見致しましたに依つて今後は一切牢獄文庫は勿論新日本建設社とも關係を斷つ事に致しました事を茲に遺憾ながら知已諸氏に向つて明聲致します。千九百二十二年三月三十日

市外大井町鈴ヶ森刑場隣り

新日本建設社

元牢獄文庫主事

齋藤仙五郎方

新島 新島 榮治 榮治